

## 37同会関東支部総会兼忘年会

### ■ はじめに

11月17日(金)14:00～15:00の間、東京都千代田区九段南1-6-1「昭和館」において見学会を行い、16:15～18:40の間、東京都新宿区市谷本村町4-1ホテル グランドヒル市ヶ谷西館B1「うまいものや つだがわ」において総会兼忘年会を行いました。

### ■ 昭和館見学

私が市ヶ谷台ツアーの申し込みを失敗したお蔭で、昭和館見学に切り替えたのですが、まったく人気がなく、義理堅い4名の方と私の、わずか5名で見学しました。係の方の説明を受けている状況が写真下左です。このあと、受付の女性から、カメラ・ビデオの撮影をやめるよう注意されました。6階の「体験のひろば」以外は撮影禁止だということは知っていましたが、このような写真まで禁止するという国立施設ならではの融通の利かない女性従業員でした。

5階のビデオ・写真ブースは実に有益でしたが、1時間もすると皆さん飽きてきて、「歩いて市ヶ谷まで行き、そこでコーヒーを飲んで時間を潰そう」と言うので歩き始めました(写真下右)。



市ヶ谷駅前の喫茶店「PRONTO」でコーヒーを飲み(倉田さんはケーキも食べました。私はグラスビールを飲みました)、入店して約30分後の15:55に出発して「つだがわ」に向かいました。

### ■ 総会兼忘年会

参加者は女性がゼロで、男性9名のみという寂しいものでした。今回は、11月3日に東久邇宮文化褒章を受けた倉田さんと秋の中国大会で準優勝した下関国際高校の祝賀会を兼ねて行いました。

写真右は、受賞に至るまでの輝かしい業績を説明している倉田さんです。元NTTデータ会長、元農林水産省食品流通局長、元西武百貨店社長など非常に偉い方たちの御支援を受けているそうですから、彼は凄いです。



総会では、今年度の役員(支部長:長岡輝男君、副支部長:久田道子さん、幹事:倉田篤志君、小西和憲君、田鍋裕三君、増田満義君、幹事長:村川淳一)、顧問(吉川順一君)が、平成30年度から2年間留任することで承認されました。

また、来年の観桜会の場所について、武田さんが数箇所提案してくれましたので、今後検討したいと思います。長岡さんは御苦労なことに今回もビデオを撮ってくれています(写真右)。



忘年会では、吉川さんから順に近況報告をしていただきました。吉川さんは、下関の同窓会総会に参加し、二次会で清原さん行きつけのバーで清原さん、藤永さんと飲んだと言っていました。池田さんはゴルフでドライバーを振っているときに腱を切り他の箇所から移植したそうで、かなりの手術だったそうです。リハビリがたいへんだと思います。倉田さんは、15歳まで勉強しなかったもので、それ以降はしっかり勉強したと言っていました。それが今に繋がっているのですね。



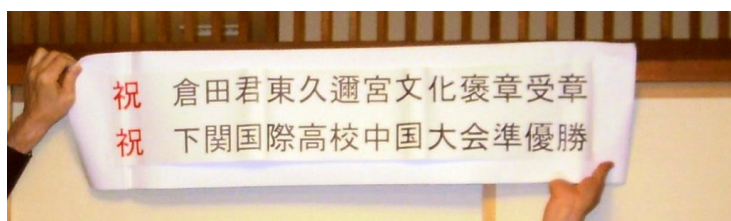
小西さんは、会を計画する際は、まず女性の都合を確認してからやるべきだと言っていましたので、そうしたいと思います。また、年間2回の会合を続けるのかという質問されたので、従来どおりと回答しました。増田さんは、奥さんが入院され、その介護疲れからか1ヵ月間、坐骨神経痛を患っていましたが、ブロック注射で快復したと言っていました。



田鍋さんは、せっかく中学の同期生が集まっているのだから、中学時代の話をしようよと言っていました。武田さんは、下関のお墓を移すのにいろいろな意見が出て、たいへんだと言っていました。私は、母が福岡県春日市の老人ホームに入ったので、今月 23 日にお寺から納骨堂の父のお骨を受領すること、借家を 12 月に返すので、以後、下関の行事参加はホテル泊になると述べました。



長岡支部長からは、37同会関東支部が今後末永く続くように、会員の皆さんの協力をお願いするという話がありました。また、37同会本部の近況について、岡林さんからの情報を伝えてくれました。



17:55 に吉川さんが自社の宴会に出るために中座されるといことで、私が持参した横断幕を掲げて集合写真を撮りました。

文字が小さすぎましたので、上にアップ写真を加えました。今後気を付けます。



### ■ 37同会関東支部設立当時の思い出

平成24年7月14日、丸の内帝劇ビル地下2階の「桂園 帝劇ビル店」において設立総会を行ってから5年4ヶ月が経過しました。この日は私を含めて18名の方に参加していただきましたが、写真下後列の、向かって右端にいる浅原さんはもうこの世にいませんし、現在消息の分からない方もいます。



### ■ おわりに

この写真を撮っていただいたときの状況は酔っていて覚えていませんが、写真の刻印によりますと18:40にお開きになったようです。

今回、体調不良によって急遽不参加となった方が多数おられました。これからそういう方が増えてくるのが予想されます。健康維持に努めながら、なるべく多くの方に参加していただき、無駄話をしながらリラックスしたひとときを過ごしていただきたいものです。



以上